

製品名: C9orf72 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82956**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、サル、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	54.3kDa

抗原情報

遺伝子名	C9orf72
別名	ALSFTD; DENND9; FTDALS; DENNL72; FTDALS1
遺伝子 ID	203228.0
SwissProt ID	
免疫原	大腸菌で発現したヒト C9orf72 (AA: 110-199) の精製された組み換え断片。

背景

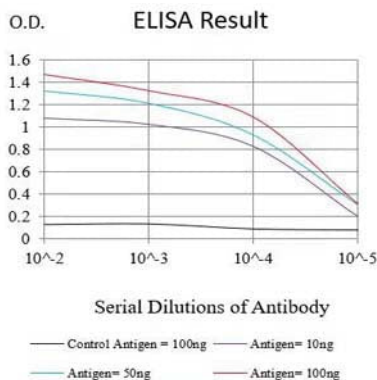
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、エンドソーム輸送の制御において重要な役割を果たしており、オートファジーおよびエンドサイトーシス輸送に関与する Rab タンパク質と相互作用することが示されている。この遺伝子の転写産物における交互 5'エ

クソン間のイントロン配列における GGGGCC リピートが 2~22 コピーから 700~1600 コピーに拡大していることは、9p 連鎖性 ALS (筋萎縮性側索硬化症) および FTD (前頭側頭型認知症) と関連している (PMID: 21944778, 21944779)。研究によると、ヘキサヌクレオチドの拡大は、リピートを含む pre-mRNA の選択的安定化と、FTD-ALS 患者の病原性となりうる不溶性ジペプチドリピータンパク質凝集体の蓄積につながる可能性が示唆されている (PMID: 23393093)。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生じる。

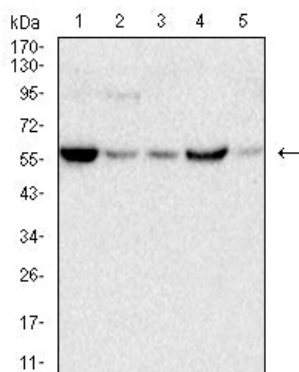
研究分野

オートファジー

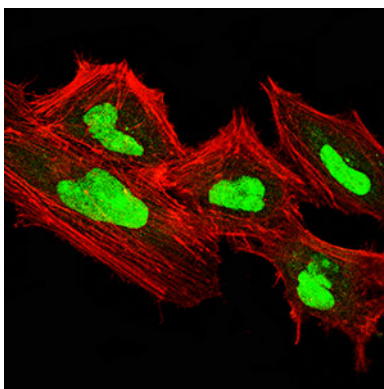
画像データ



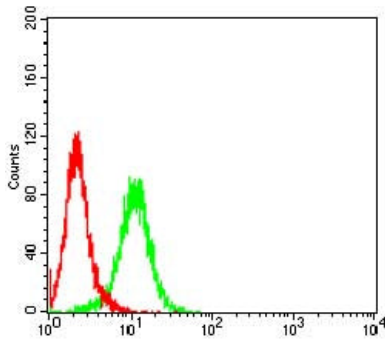
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



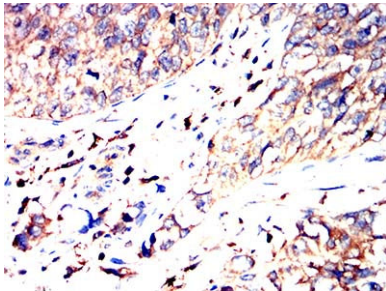
C6 (1) 、PC-12 (2) 、COS-7 (3) 、NIH/3T3 (4) 、SK-N-SH (5) 細胞溶解物に対する C9orf72 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



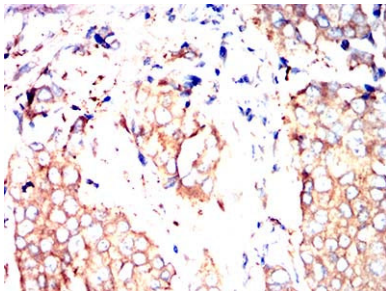
C9orf72 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



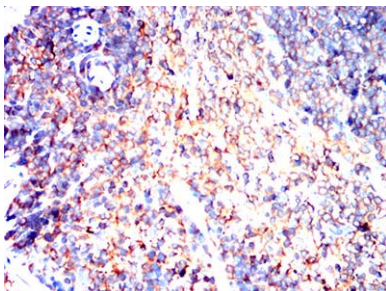
C9orf72 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。



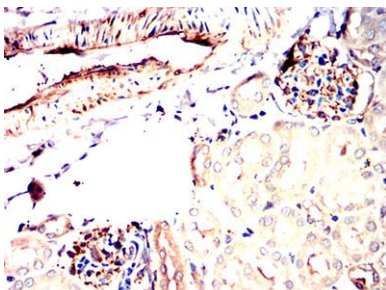
C9orf72 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。



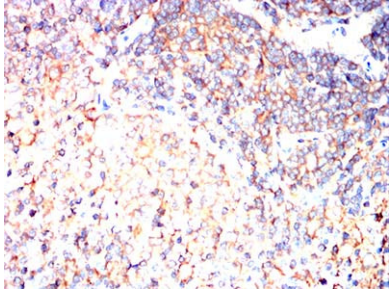
C9orf72 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト乳がん組織の免疫組織化学分析。



C9orf72 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス脾臓組織の免疫組織化学分析。



C9orf72 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス腎臓組織の免疫組織化学分析。



C9orf72 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ラット脾臓組織の免疫組織化学分析。